

志岐高便り

第208号

発行責任者
濱野 正義



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校
[TEL] 0920-47-0081

長崎県志岐市郷ノ浦町片原触88
[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



二十一世紀に生きる君たちへ

校長 濱野 正義



75回生に贈る最後のメッセージとして、この志岐高便りの巻頭言には、「竜馬がゆく」でお馴染みの作家、司馬遼太郎の「二十一世紀に生きる君たちへ」を載せようと、ずっと前から決めていました。

現代のグローバル化社会では、効率や即効性が優先され、成果や応用力をいかに早く目に見える形で出せるかどうかを常に問われ続けています。

しかし、いつの世でも大切なことは、私がこの2年間、君たちに言い続けてきた「いたわり」や「おもいやり」の感情だということを、卒業しても忘れないでください。

～二十一世紀を生きる君たちへ～

私は、歴史小説を書いてきた。もともと歴史が好きなのである。両親を愛するようにして、歴史を愛している。歴史とはなんでしょう、と聞かれるとき、「それは、大きな世界です。かつて存在した何億という人生がそこにつめこまれている世界なのです。」と、答えることにしている。私には、幸い、この世にたくさんのすばらしい友人がいる。歴史のなかにもいる。そこには、この世では求めがたいほどにすばらしい人たちがいて、私の日常を、はげましたり、なぐさめたりしてくれているのである。だから、私は少なくとも2千年以上の時間の中を、生きているようなものだと思っている。この楽しさは…もし君たちさえそう望むならおすそ分けしてあげたいほどである。

ただ、さびしく思うことがある。私がおもっていない、君たちだけが持っている大きなものがある。未来というものである。私の人生は、すでに持ち時間が少ない。例えば、二十一世紀というものを見ることができないにちがいない。

君たちは、ちがう。二十一世紀をたっぶり見ることができるばかりか、そのかがやかしいになり手でもある。もし、「未来」という街角で、私が君たちを呼び止めることができたなら、どんなにいいだろう。「田中くん、ちょっとかがいますが、あなたが今歩いている、二十一世紀とは、どんな世の中でしょう。」そのように質問して、君たちに教えてもらいたいのだが、ただ残念にも、その「未来」という街角には、私はもういない。だから、君たちと話ができるのは、今のうちだということである。

私は、人という文字を見るとき、しばしば感動する。ななめの画がたがいに支え合って、構成されているのである。そのことでも分かるように、人間は、社会をつくって生きている。社会とは、支え合う仕組みということである。

原始時代の社会は小さかった。家族を中心とした社会だった。それがしだいに大きな社会になり、今は、国家と世界という社会をつくり、たがいに助け合いながら生きているのである。自然物としての人間は、決して孤立して生きられるようにはつくられていない。

このため、助け合う、ということが、人間にとって、大きな道徳になっている。助け合うという気持ちや行動のものは、いたわりという感情である。他人の痛みを感じることも言ってもいい。やさしさと言いかえてもいい。「やさしさ」「おもいやり」「いたわり」「他人の痛みを感じること」、みな似たような言葉である。

これらの言葉は、もともと一つの根から出ている。根といっても、本能ではない。だから、私たちは訓練をしてそれを身につけねばならない。その訓練とは、簡単なことだ。例えば、友達がころぶ。ああ痛かったろうな、と感じる気持ちを、そのつど自分で作りあげていきさえすればよい。この根っこの感情が、自己の中でしっかり根づいていけば、他民族へのいたわりという気持ちもわき出てくる。君たちさえ、そういう自己をつくっていけば、二十一世紀は人類が仲良しで暮らせる時代になるにちがいない。

鎌倉時代の武士たちは、「たのもしさ」ということを、大切にしてきた。人間は、いつの時代でもたのもしい人格をもたねばならない。男女とも、たのもしくない人格に魅力を感じないのである。

もういちど繰り返そう。さきに私は自己を確立せよ、と言った。自分には厳しく、あいてにはやさしく、とも言った。それらを訓練せよ、とも言った。それらを訓練することで、自己が確立されていく。そして、「たのもしい君たち」になっていく。以上のことは、いつの時代になっても、人間が生きていくうえで、欠かすことができない心がまえというものである。

君たち。君たちはつねに晴れ上がった空のように、たかだかとした心を持たねばならない。同時に、ずっしりとたくましい足どりで、大地をふみしめつつ歩かねばならない。私は、君たちの心の中の最も美しいものを見続けながら、以上のことを書いた。

書き終わって、君たちの未来が、真夏の太陽のようにかがやいているように感じた。



小学校国語六年下（大阪書籍）より

壱岐高Topics!

下條雄太郎様寄贈品贈呈式

本校56回生下條雄太郎様より、母校のスポーツ振興と発展のためにストレッチマットをご寄贈いただき、2月17日（金）に贈呈式を行いました。今後も部活動を通して、心・技・体を磨くことを誓うとともに、自分たちも後輩たちのために何ができるかについて考える大切な機会にもなりました。



「大切にさせていただきます！」

~ Shane's column ~ ☕

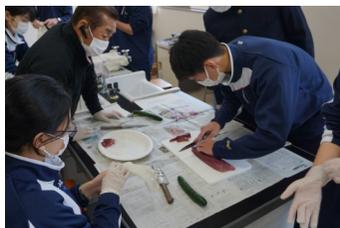
Congratulations graduating seniors!!! You are the only group of students I have spent all three years with. I am proud to have been your ALT. This year has been especially fun for me thanks to Yoshikawa-Sensei, Aigo-Sensei, and the members of class 5. Thank you for including me. I think high school is a difficult time for students in Japan. From now on, you will have a lot more freedom. Please make the most of it! Try new things and make as many friends as possible. Now is the time to travel, learn new skills, take chances! Most importantly, be good to yourself and kind to others. I'm sure you will all live interesting lives! Stay in touch on social media. Best of luck— Shane



第 3 学 年 よ り

75回生の皆さんご卒業おめでとうございます。卒業と耳にすると、皆さんとの別れを実感します。コロナの感染拡大により、数週間遅れで行われた入学式や、新入生研修時の初々しさが目に浮かびます。ありきたりですが、あっという間に日々が過ぎて行きました。特に3年生の3学期は、共通テスト、個別入試向け講座など、多くの職員を動員して様々に対応しました。共通テスト不受験者に対しては、スキルアップ組として外部から講師をお招きしての講座や、各種イベントを企画しました。それぞれの進路に応じて、高校卒業間近に必要なことをできる限り多く計画しました。高校生活の締めくくり、苦しいことも楽しいことも壱岐高の思い出として懐かしむ日が来ることを心から願っております。

保護者等の皆様、重ねてご卒業のお祝い申し上げます。3年間のご支援無しには、晴れやかなこの日を迎えることはできませんでした。常にお子様へ寄り添っていただき、有難うございます。ご卒業後も、壱岐高校をご支援いただきますよう、よろしく願いたします。



↑魚さばき講座
【協力】壱岐市振興局・壱岐市・壱岐地区漁業士会

第 2 学 年 よ り

3年生0学期として迎えた3学期は対外模試や学年末考査、公務員模試（希望者）や土曜学習会など学習に関わる行事が多く、机に向かう時間が多かったのではないのでしょうか。ちょうど今、対外模試の結果が手元に届いている頃だと思います。結果はどうでしょうか。その結果を元に、春季休業中の学習計画を立てているところです。さらに、先日は志望理由書講演会を開き、自らの進路実現に向けて、より一層意識が高まったように感じます。また、考査が終わり、部活動が再開され、春季戦やコンクールに向けて各チームが励んでいます。保護者等の皆様、2年生も残りわずかとなりました。いよいよ最高学年となります。新年度に向けてやり残すことがないように支援してまいります。

第 1 学 年 よ り

「当たり前のことを当たり前にする」「時間を守る」「楽しむところは楽しむ」、1年生も残り1ヶ月余りとなりました。そこで、残り1ヶ月をどう過ごしたらよいか、クラスで話し合い、自治委員に発表してもらったところ、上記のような意見が出てきました。5つのクラスにそれぞれのカラーがあり、素晴らしい集団になりました。春には新入生を迎え、学校の中核として学校をリードしていけるよう、それぞれが自覚を持って、またOne Step踏み出せるよう、残された時間を大切にクラスで団結し過ごしてほしいと思います。

学年末考査が終わりました。考査前の自学の様子を見ると、少しずつではありますが、学習する集団へと成長を続けています。先月実施した壱岐高寺子屋では、有志が集まって、英語の問いに挑戦しました。今後、数学・国語でも実施します。多くの生徒を取り込んで学習への意欲を高めたいと考えています。

保護者等の皆様いつもありがとうございます。新年度に向けてやり残しがないようしっかり支援していきます。

東アジア歴史・中国語 コース

王曉麗先生からのメッセージ

2月は日本で「きさらぎ」とも呼ばれ、「衣を更に着る」という意味の他に、草木が芽吹く月で「生更木（きさらぎ）」とする説もあります。寒いけど、春はもうすぐですね。2月20日は私の最後の授業となりました。この一年間を振り返ると、別れに直面して寂しくてたまりません。一方、多くの3年生が第一志望の大学に合格したことを聞いて、とても誇りに思っています。今年の2月5日は、中国の「立春」という節気でした。これから、だんだん春らしくなり、人も元気になるでしょう。花が咲き草木が生い茂るに伴って、私たちの生活もますます美しくなればいいなあと思っています。



各分掌から

生徒支援部より

75回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが3年生になってから、本格的に校則の見直しが適用されました。その状況下で後輩たちの良い見本となり、正しい判断や行動を示してくれて助かりました。皆さんが最高学年であったことで、救われたことは数えきれません。ありがとうございました。今までの成功・失敗・成就・後悔など全ての経験が財産です。しっかり前を向いて、それぞれのステージで協力し合って、壱岐高校での経験を将来にかしまししょう。

「努力は実りづらいがきっと人生は素晴らしい」back number「ベルベットの詩」より

努力は、成功を約束するものではありません。また、努力は実りづらいです。しかし、成長は約束されています。チャンスを掴み取れるか否かさえも、あなたの姿勢にかかっています。これから様々な困難や壁にぶつかっても、夢を叶えるために、最初は少しの希望であっても、掴むまでひたむきに努力を続け、必ず夢を実現してください。あなたの未来は、あなた自身が創っていきます。最後に、これからの未来が「感謝と思いやり」にあふれる人生であることを願っています。

キャリア支援部より

厳しい寒さも少しずつ和らぎ、春の気配を感じるようになりました。1年生については進研模試やハイレベル模試を受験し、2年生については進研マーク模試や公務員模試を受験しました。結果を真摯に受け止め、学習への意識をますます高めるとともに、進級を控えるこの時期に、具体的かつ効果的な学習方法を自分のものにしてもらいたいと思います。

3年生は2月25日、26日に国公立大学の前期試験に臨みました。また、2月上旬から中旬にかけては私立大学の受験のピークを迎えました。それぞれの進路実現に向けて、慌ただし日々が続いていると思いますが、もうひと頑張り、本気で立ち向かって欲しいと思います。75回生の皆さん、いよいよ卒業です。自分の進む道に誇りを持って、豊かな人生を切り拓く逞しさを磨いていってください。ご卒業、誠におめでとうございます。

3月行事予定

①1年 ②2年 ③3年
★土曜学習・学校開放

1	水	卒業証書授与式 夏時間開始	
2	木		SC
3	金		SSW
4	土	公務員セミナー② ★①② 意自学会③	★
5	日		
6	月	後期入試設営 特編Ⅲ期終了	
7	火	(生徒自宅学習)	
8	水	国公立大中期試験 (生徒自宅学習)	
9	木	(生徒自宅学習)	
10	金	個人写真撮影①②(PM)	SSW
11	土	学校開放	★
12	日	国公立大後期試験	
13	月	LHR(卒業生体験発表+座談会)	
14	火		
15	水		
16	木	(7校時:3/13月との振替) 合格者説明会 ホームステイ説明会 里親顔合せ会	SC
17	金		SSW
18	土	学校開放	★
19	日		
20	月		
21	火	【春分の日】	
22	水		
23	木	競技大会①②	SC
24	金	終業式 受納式 大掃除 離任式	
25	土		
26	日		
27	月	学校開放	★
28	火	学校開放	★
29	水		
30	木		
31	金		

帰りのバスは、3月から
19:10 発となります。